

科学技術の潮流

JST研究開発戦略センター

(208)

産業の高度化

タイは東南アジア諸国連合（ASEAN）の中核的な国の一つであり、日本との経済面の結び付きも深い。2014年のクーデター以降、政情はやや不安定であるものの、政策面では2019年（2018-17年）の長期国家戦略を策定するなど、国の安定と発展に向けた取り組みが進められてきた。

化は優先課題になるとみられる。

BCG経済

19年には、その推進に

タイのSTI分野における現在の看板政策

さらには、21年にポストコロナの経済復興と環境対策を同時に加速する政策枠組みとして、

国家戦略にも据えらるることとなった。

BCG経済では「タイランド4.0」を推進するにあたり、①農業・食品、②医療・ウエルネス、③バイオエ

点を当て、戦略的に支援する。22年2月にタイ政府は、これら4分野の産業競争力強化に向け7年間で410億

円（約1640億円）を措置する「BCG行動計画」を決定した。

関連する行政部門を一元化し、高等教育・科学イノベーション省（MHESI）が発足

みであるバイオ分野を推進する方策として、MHESIが19年

エルネス、③バイオエ

業・食品、②医療・ウエルネス、③バイオエ

野の産業競争力強化に向け7年間で410億

円（約1640億円）を措置する「BCG行動計画」を決定した。

BCG経済のコンセプトはタイ国外にも広がりをみせている。22

に就いたセター氏が発表を推進する方策として、MHESIが19年

エルネス、③バイオエ

業・食品、②医療・ウエルネス、③バイオエ

野の産業競争力強化に向け7年間で410億

円（約1640億円）を措置する「BCG行動計画」を決定した。

BCG経済のコンセプトはタイ国外にも広がりをみせている。22

年1月にはタイが主導する形でASEAN・BCGネットワークが発足し、政策調整や研究協力など多層的な官

ASEAN地域の科学技術動向

6

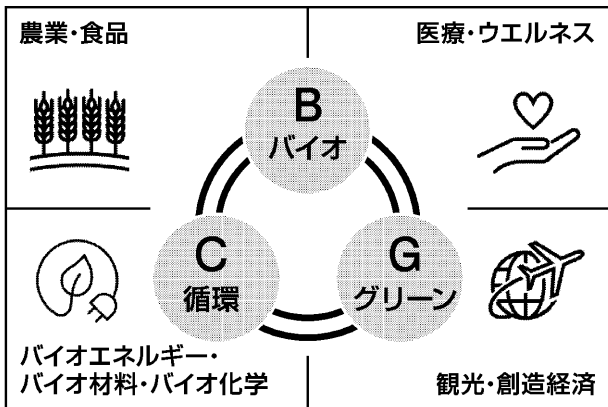
タイ、科技で持続可能な成長



科学技術振興機構（JST）研究開発戦略センター フェロー（海外動向ユニット） 長谷川 貴之

JST入職後、地域事業、情報事業、国際事業、日本学術振興会出向などを経て、18年より現職。米国の科学技術政策動向調査を担当。

タイはBCG経済を成長の軸に据える



タイ政府ウェブサイトおよび各種資料を基にCRDS作成

わが国も、カーボン

（金曜日に掲載）